

第159期

日東紡 株主通信

2019年4月1日 ~ 2019年9月30日

- ◆ 株主の皆様へ
- ◆ 事業紹介
- ◆ こんなところに日東紡！
- ◆ ESGトピックス
- ◆ 財務ハイライト(連結)
- ◆ 財務諸表(連結)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

台風19号により被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、当社福島工場の被災に対し温かいご支援・お心遣いを頂戴いたしましたこと御礼申し上げます。

ここに当社グループ第159期 第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の業績をご報告申し上げます。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



取締役 代表執行役社長 谷 裕一

■ 当第2四半期（2019年4月1日から9月30日まで）の業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資を中心とした民需に支えられ緩やかな回復基調が続いたものの、製造業の企業収益、輸出や生産に減速感が見られました。また、世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が継続していましたが、米中貿易摩擦の動向や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等により、先行きの不透明さが増しております。

このような環境の下、当社グループは『中期経営計画《Go for Next 100》』に基づき、中長期で持続的な成長を実現するために高付加価値品へのシフトを進めており、第1四半期連結会計期間よりスペシャルガラスの生産設備を順次立ち上げるとともに、人材投資、研究開発も積極的に実施いたしました。

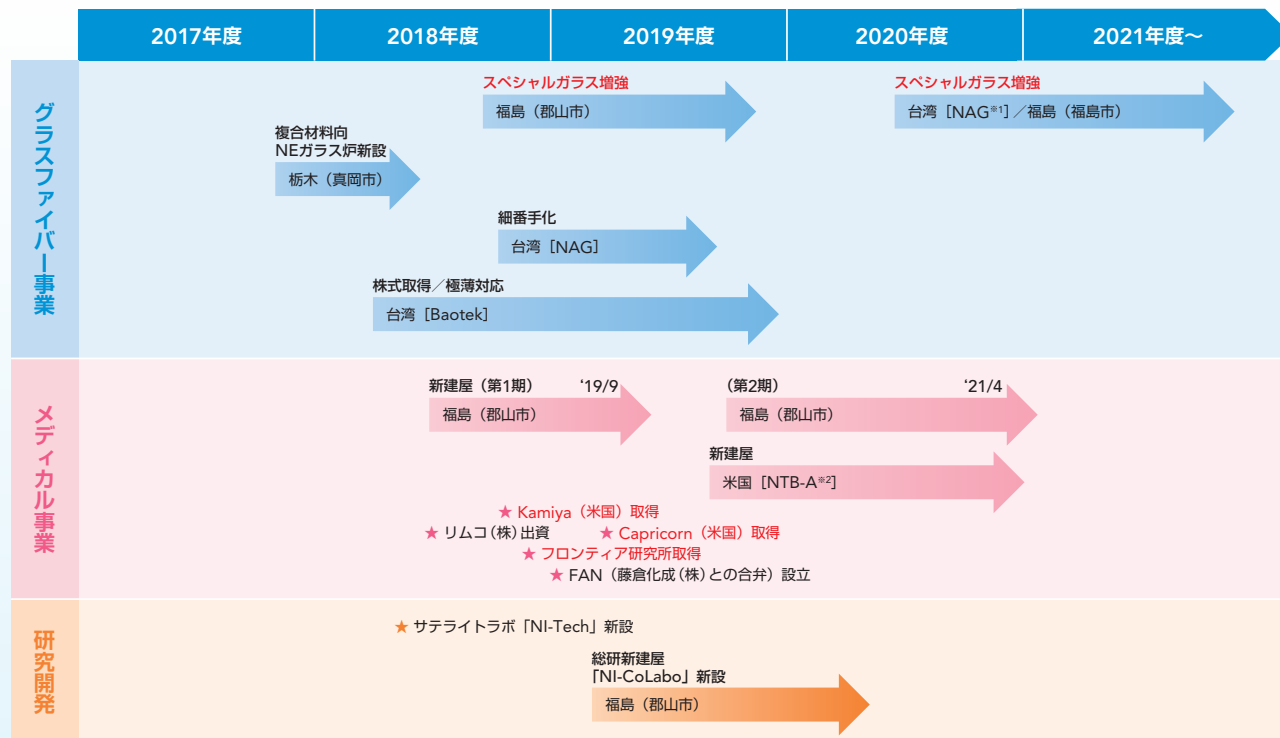
この結果、連結売上高は42,762百万円（前年同期比3.0%の増収）、営業利益は3,394百万円（前年同期比22.7%の減益）、経常利益は3,391百万円（前年同期比31.0%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,065百万円（前年同期比54.4%の減益）になりました。

中期経営計画《Go for Next 100》の進捗

今中期経営計画では高付加価値化の推進を重点施策に掲げており、日東紡グループの優位性をより一層強化すべく、今年度は以下の取り組みを行っております。

グラスファイバー事業では、5G（第5世代通信技術）の実用化を控えて需要の旺盛な電子材料用途のスペシャルガラスの設備増設を行い、今年度下期から投資効果が発現いたします。

メディカル事業は、原料から最終製品までの一貫生産を強みとしています。このバリューチェーンの一層の強化を図るため、福島県郡山市の新工場の建設を進めるとともに、研究開発の強化・薬事承認のノウハウ取得・販売網拡張を目的としたM&Aを実施しました。



※1 NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. ※2 Nittobo America Inc.

■ グラスファイバー事業 スペシャルガラス（NEガラス・Tガラス）生産設備の増強

5G（第5世代通信技術）には大容量の情報を遅延することなく高速に処理・伝送し、多数の機器を同時接続するという特色があります。

通信技術の高速・高周波化の進展により、電子機器に用いられるプリント配線基板には、伝送損失を改善する低誘電ガラスが必要とされています。日東紡の「NEガラスクロス」は伝送損失を抑える低誘電率・低誘電正接を実現する特殊な組成を持ったグラスファイバーで、大容量の情報の高速処理が要求されるデータセンター向けサーバーや携帯基地局の高周波部材等として使用されています。

また、電子機器の高速化・高機能化は、微細なプリント配線基板に高熱をもたらし、耐熱性に優れるガラスにもごくわずかな熱膨張を発生させるため、熱による膨張を低く抑える物理特性の高いガラスが求められています。日東紡の「Tガラスクロス」は低熱膨張特性および高引張弾性を持ち、高い安定性、信頼性を求められる高機能サーバーや、さらなる小型化・高性能化が求められるスマートフォンなどの半導体パッケージ基板に使用されています。

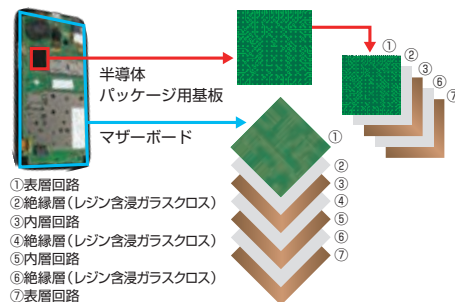
5Gの実用化を控え、日東紡の独自製品であるNEガラス・Tガラスの需要が高まっています。この需要に応えるべく、今年度初頭より、福島県郡山市にスペシャルガラスの溶融炉を増設して順次稼働させております。さらに、より一層の増産体制を整えるべく、台湾および福島県福島市において、スペシャルガラスの新溶融炉を増設すべく準備を進めております。

プリント配線基板向けグラスファイバー

ガラスクロスの最大の用途のひとつは、グラスファイバーの電気絶縁性、耐熱性、寸法安定性を活かした電気絶縁用基材です。

エポキシ樹脂やポリイミド樹脂等と組み合わせられ、電子機器（コンピューター、通信機器、交換機等）のプリント配線基板材料として使用されています。当社の得意とするガラスクロス加工技術（開織加工技術）を施すことにより、プリント配線基板の付加価値をより高めることができます。

ガラスクロス使用イメージ



■ メディカル事業 グループ力強化（M&A）

日東紡グループはメディカル事業を第二の柱とすべく、国内外のメディカル事業の強化・拡大に取り組んでおります。

研究開発および原料生産の強化、グローバルな薬事承認ノウハウと販売網の取得等、メディカル事業のグループ力強化を目的にM&Aを行い、下記3社が連結子会社となりました。

バリューチェーンに
おける各機能の強化
(連結子会社化)

- | | |
|----------|--------------------------------|
| ①抗原抗体開発 | 株式会社フロンティア研究所 |
| ②抗原抗体生産 | Capricorn Products LLC |
| ③薬事承認・販売 | Kamiya Biomedical Company, LLC |

Nittobo America Inc. **米国**

ニットーポーメディカル株式会社 **日本**

抗原抗体
開発

抗原抗体
生産

調液
(バルク品)

分注
(キット品)

薬事承認

販売

①株式会社フロンティア研究所

◆所在地

北海道石狩市

◆事業内容

抗体作製および製造受託、生化学・分子生物学実験受託、バイオアッセイ測定系開発、研究用試薬開発製造販売

②Capricorn Products LLC

◆所在地

米国 メイン州

◆事業内容

体外診断薬用抗血清の製造販売

③Kamiya Biomedical Company, LLC

◆所在地

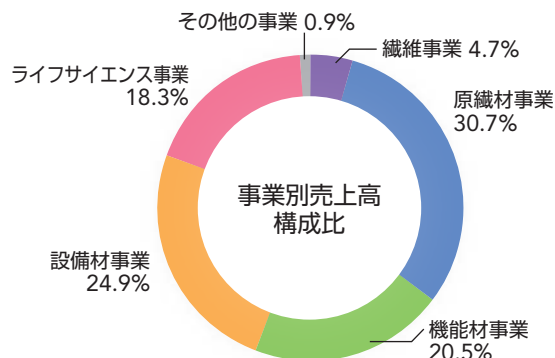
米国 ワシントン州

◆事業内容

体外診断薬と研究用試薬・原料の製造および米国を中心とした世界各国への販売、受託検査サービス

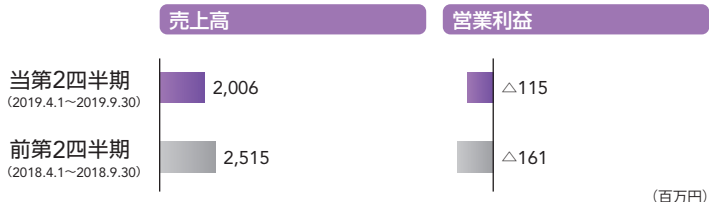
当第2四半期 事業セグメント別業績

事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。また、当第2四半期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



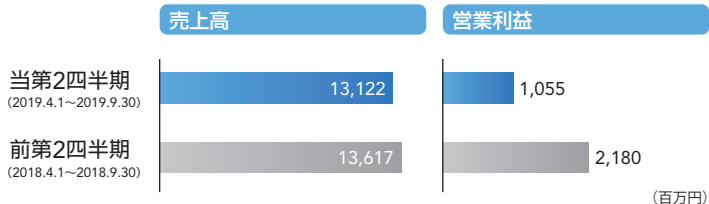
繊維事業

繊維事業では、中国子会社の持分譲渡や市況の低迷によって売上高は減少しましたが、値上げの浸透や中国から日本への生産移管による損益の改善がありました。



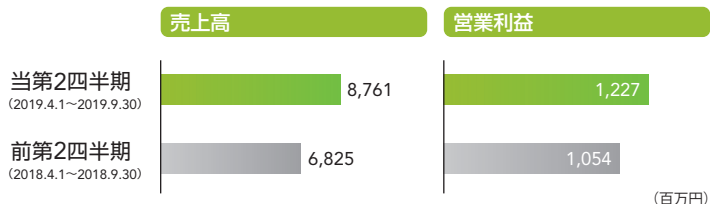
原織材事業

原織材事業では、スマートフォンの生産調整が一段落し極細ヤーンの回復がみられましたが、強化プラスチック用途の複合材は厳しい状況が続いています。



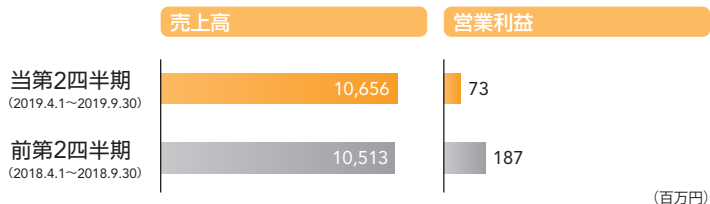
機能材事業

機能材事業では、スペシャルガラスの需要が引き続き堅調でした。また、Baotek Industrial Materials Ltd.が連結子会社となり売上高が増加しました。



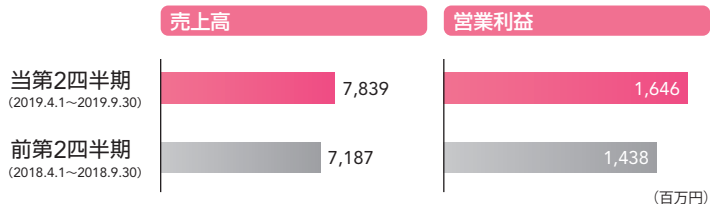
設備材事業

設備材事業では、設備・建設資材向けのガラスクロスおよび住宅向け断熱材の販売は底堅く推移しましたが、減価償却費の増加等により損益が悪化しました。



ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力し、増収増益となりました。



暮らしと社会を支える 縁の下のチカラ持ち。

毎日使う身近なものから産業インフラまで、
日東紡グループの製品は、
街中の至るところで使用されています。
生活をもっと便利にするために。
安心をもっと強固にするために。
日東紡グループの製品は、今日も見えないところで
皆さまの暮らしと社会をチカラ強く支えています。

- 繊維事業
- 原織材事業
- 機能材事業
- 設備材事業
- ライフサイエンス事業





社会貢献活動

日東紡グループの各事業所では、社会との調和を図り、共に発展していくことを目指して社会貢献活動を行っています。

献血活動

富久山事業センターは、40年以上にわたり献血に協力しています。毎年、春と秋に献血車が富久山事業センターを訪れ、従業員が献血を行っています。その長年にわたる功績を称えられ、第55回献血運動推進全国大会において厚生労働大臣感謝状をいただきました。

今後も、多くの方が必要としている血液事業に貢献するため、献血活動を続けていきます。



教育支援活動

福島工場は、福島県立福島高等学校のスーパーサイエンスハイスクール (SSH)*の運営指導委員会の委員を務めています。この度、「現在学んでいる教科と社会との関連性を理解し、大学進学後の社会で働く姿をイメージする」、「福島市で活動を営む企業について知識を得る」の2点を目的とする同校SSH部の工場見学を受け入れました。今後も福島から国際的な科学技術系人材を輩出するためのサポートを継続していきます。

※「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」とは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取り組みです。この拠点となる高等学校等は文部科学省が指定します。



福島県復興支援

8月21日に東京本部がある麹町大通りビルの入り口に特設会場を設置し、福島県復興応援フェア「ふくしまマルシェ」を開催しました。2016年より年1回開催しており、毎年恒例のイベントとして定着しつつあります。1番人気の桃をはじめ、梨や日本酒など人気商品が数多く並び、開始早々に売り切れてしまう商品も出るなど、今年も大盛況となりました。福島県の復興を紹介するパネルの展示に加え、福島県の特産品を販売することで、福島県の復興と食品の安心・安全をアピールしました。



地域活性・スポーツ支援

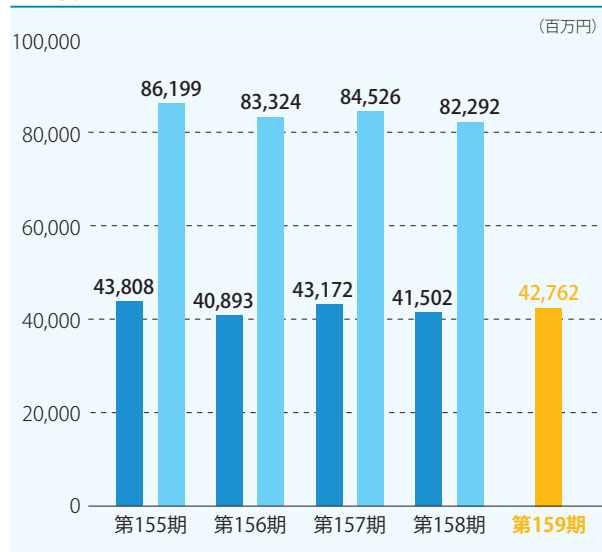
日東紡グループは、スポーツを通じて福島の実業発展と地域活性化を目的とし全国を舞台に活動している、福島ユナイテッドFC（サッカーJリーグ所属）のオフィシャルクラブパートナーを務めています。



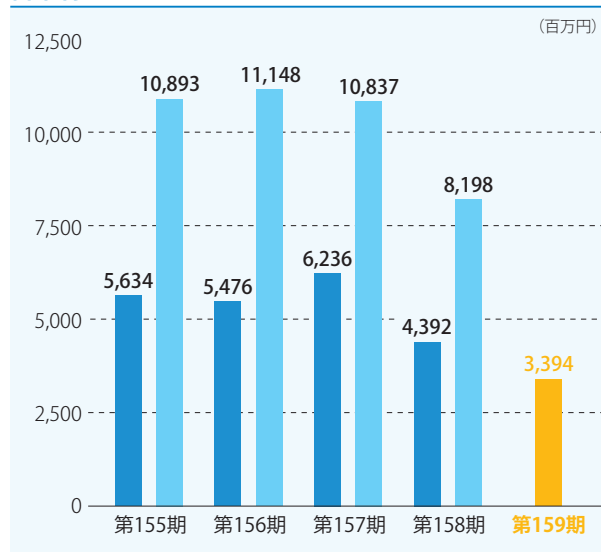
©Fukushima United FC

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期

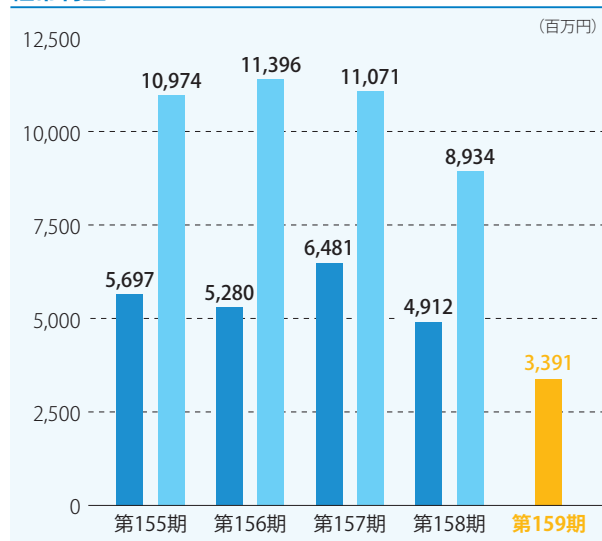
売上高



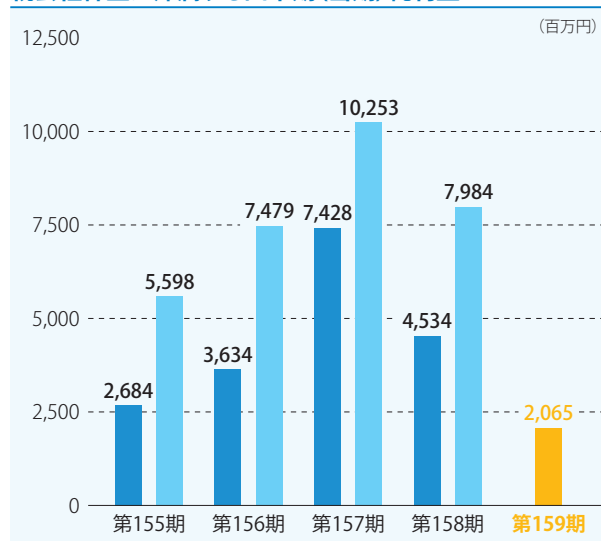
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



連結貸借対照表（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2019年9月30日	前期末 2019年3月31日
(資産の部)		
流動資産	82,414	72,674
現金及び預金	25,880	16,145
受取手形及び売掛金	24,623	25,353
たな卸資産	29,118	28,586
その他	2,792	2,588
固定資産	91,433	78,326
有形固定資産	61,163	47,523
建物及び構築物	14,619	12,246
機械装置及び運搬具	19,664	13,400
土地	15,671	12,595
その他	11,208	9,280
無形固定資産	2,685	1,680
投資その他の資産	27,584	29,122
投資有価証券	23,929	24,757
その他	3,654	4,364
資産合計	173,848	151,000

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2019年9月30日	前期末 2019年3月31日
(負債の部)		
流動負債	33,384	32,066
支払手形及び買掛金	6,977	9,415
短期借入金及び 1年内返済予定の長期借入金	14,914	12,998
その他	11,492	9,652
固定負債	43,444	28,193
社債及び長期借入金	24,908	9,696
退職給付に係る負債	9,463	9,805
その他	9,073	8,691
負債合計	76,829	60,259
(純資産の部)		
株主資本	88,835	87,633
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	52,645	51,440
自己株式	△2,546	△2,544
その他の包括利益累計額	3,419	2,079
その他有価証券評価差額金	5,636	3,542
為替換算調整勘定	△464	429
退職給付に係る調整累計額	△1,752	△1,892
非支配株主持分	4,763	1,027
純資産合計	97,018	90,740
負債純資産合計	173,848	151,000

連結損益計算書（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	42,762	41,502
売上原価	29,324	27,481
売上総利益	13,437	14,021
販売費及び一般管理費	10,043	9,629
営業利益	3,394	4,392
営業外収益	538	877
営業外費用	541	357
経常利益	3,391	4,912
特別利益	275	1,178
特別損失	744	754
税金等調整前四半期純利益	2,923	5,335
法人税等	800	784
四半期純利益	2,122	4,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,065	4,534

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,781	1,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,983	△6,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,875	4,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	△149
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,564	△1,194
現金及び現金同等物の期首残高	16,145	18,324
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額	152	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,861	17,129

● 企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島県福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麴町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	（連結）2,414名（単体）820名（2019年3月31日現在）
ホームページ	https://www.nittobo.co.jp

● 主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043	大阪府大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8581	福島県福島市郷野目字東1
福島第2工場	〒960-2154	福島県福島市佐倉下一本杉20
富久山事業センター	〒963-8061	福島県郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065	新潟県新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744	富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501	兵庫県伊丹市桑津1-6-1
ファイバー研究開発センター		（福島工場内）
メディカル研究開発センター		（富久山事業センター内）
サテライトラボ NI-Tech	〒210-0821	神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-14 （ナノ医療イノベーションセンター3階3108号室）

● 連結子会社

（2019年9月30日現在）

（株）日東紡インターライニング	ニッターボー新潟（株）
日東グラスファイバー工業（株）	富士ファイバークラス（株）
日東グラステックス（株）	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
Baotek Industrial Materials Ltd.	（株）双洋
（株）日東紡テクノ	パラマウント硝子工業（株）
ニッターボーメディカル（株）	Nittobo America Inc.
ニッタービバレッジ（株）	日東紡エコロジー（株）

その他9社

● 取締役

（2019年6月26日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	濱 邦 久
社 外 取 締 役	上 林 博
社 外 取 締 役	尾 内 正 道

● 執行役

（2019年6月26日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一*
専 務 執 行 役	戸 田 数 久
常 務 執 行 役	野 崎 有*
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	前 山 茂
執 行 役	五十嵐 和 彦
執 行 役	宇津木 和 之
執 行 役	多 田 弘 行
執 行 役	石 原 英 幹
執 行 役	畑 中 英 之

※は取締役兼務

● 技 監

（2019年6月26日現在）

技 監	今 野 敏 裕
-----	---------

株式情報

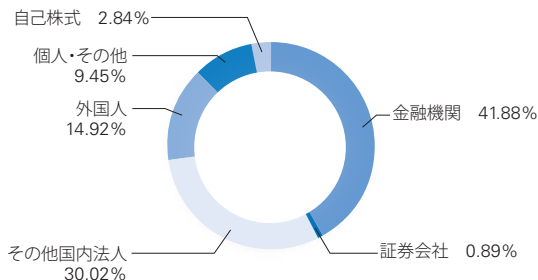
● 株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行済株式総数	39,935,512株
株主数	10,358名

● 所有者別分布状況

(2019年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nittobo.co.jp/koukoku/index.htm ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード3110）
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)

※詳細は当社のホームページ (<https://www.nittobo.co.jp/>) をご参照ください。

日東紡績株式会社

〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1(本部所在地)

● 大株主

(2019年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,069	7.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,772	7.14
住友不動産株式会社	2,383	6.14
日本生命保険相互会社	1,614	4.16
第一生命保険株式会社	1,316	3.39
ユニゾホールディングス株式会社	1,113	2.87
住友生命保険相互会社	1,082	2.79
エア・ウォーター株式会社	997	2.57
JP MORGAN CHASE BANK 385632	982	2.53
セントラル硝子株式会社	948	2.44

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

● 株式事務に関するご案内

お問合せ内容	お問合せ先
支払期間経過後の配当金について	みずほ信託銀行株式会社 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)
氏名・住所 変更等	口座を開設されている証券会社等 ※口座を開設されていない方は、上記 みずほ信託銀行株式会社
配当金受領 方法の変更	

※特別口座では、単元未満株式以外の売却を行うことはできません。
また、単元株式を売却するには、証券会社にお取引口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要です。